

うまし小浜の人々と共に歩み育てる学校づくり

小浜市立小浜小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	9回(のべ) 9日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	43人
授業ボランティア(含:低ボラ)	16人
登下校支援ボランティア	51人
その他()	
	110人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

小浜線の歴史を知ろう(4年社会科)

1 小浜線鉄道遺産『給水塔』写生大会を実施

7月27日(水)鉄道遺産を守る会会長(地域学校協議会員)さんと画家渡辺淳氏の指導を受け、JR小浜駅に残る蒸気機関車用給水塔を写生した。参加したのは4年生33人。写生を通して、地域に貴重な鉄道遺産が残っていることを知ることができた。

2 郷土の偉人「山口嘉七」と小浜線について学ぶ

9月14日(水)鉄道遺産を守る会会長さんを外部講師に招き、郷土の偉人山口嘉七と小浜線について学習した。山口嘉七は、小浜線の建設や公園の整備、河川改修などに取り組み、「現在の小浜をつくった人」であるということを知ることができた。



3 リニア鉄道館見学

11月2日(水)名古屋市にあるリニア鉄道館を見学。会長さんが事前の下見をして、計画をして下さり、班別行動もしっかりとできた。日本で初めての蒸気機関車から未来の鉄道リニアモーターカーまで、鉄道の歴史と未来について学ぶことができた。

4 『小浜線の歴史について』発表会

12月14日(水)今までの学習をまとめて全校集会で発表した。

○給水塔のこと、写生会のこと

○鉄道遺産を守る会会長さんに聞いた小浜線のこと

○郷土の偉人山口嘉七さんのこと ○山口嘉七さんが取り組んだこと(河川改修)

○リニア鉄道館見学のこと

成果と課題

鉄道遺産を守る会会長さんのご協力で、給水塔の写生会や『山口嘉七と小浜線』について学習した。児童にとって地域の貴重な財産に触れ、地域のよさを再発見するいい機会となった。校外へ出かけていって、自分たちの足で調べることもしたかったが、時間的な余裕がなくてできなかった。年度当初に全体的な見通しをもって計画する必要がある。また学習したことを校外で発表するなど、地域の方に聞いていただく場があるとよい。